

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

胃の健康度 ABC 分類

(依頼コード No.9194)

受託開始日 2011年9月1日(木) 受付分より

胃潰瘍・十二指腸潰瘍の主な原因と考えられているヘリコバクター・ピロリ菌の抗体価検査と胃粘膜萎縮(老化)マーカーのペプシノゲン検査とを組み合わせ、胃の健康度をABCの3群に分類するのがABC分類です。このABC分類を用いて、胃の健康度に応じた検診間隔を設定し、効率的に検診を行う方法がABC検診です。

### 受託要領

依頼コードNo.	9194
検体必要量	血清 1.1 m
検体の保存方法	冷蔵
採取容器	B-1 S-1
測定方法	H・ピロリ抗体IgG : EIA 法 ペプシノゲン(PG)セット : ラテックス凝集法
報告日数	3 ~ 4 日
検査実施料 / 判断料	未収載

分類の基準	ABC 分類		H・ピロリ抗体価	
			( - )	( + )
	ペプシノゲン 検査	( - )	A 群	B 群
( + )		C 群		

裏面に続きます

報告項目コード No.	項目名	報告内容
3977	胃の健康度 ABC 分類	下記 の分類基準により、結果を A, B, C の英文字で報告。
(3978) 3979 3980	ABC H. ピロリ抗体 判定 抗体濃度	抗体濃度と、下記 の判定基準による判定を報告。
(3981) 3982 3996 4011 4125	ABC ペプシノゲン 判定 ペプシノゲン ペプシノゲン ペプシノゲン / 比	ペプシノゲン 値、ペプシノゲン 値、ペプシノゲン / 比と、下記 の判定基準による判定を報告。

ABC 分類	H. ピロリ抗体価	
	( - )	( + )
ペプシノゲン検査	( - )	A 群
	( + )	B 群
		C 群
H. ピロリ抗体価陽性判定基準	( + )	10.0 U / m 以上
ペプシノゲン検査陽性判定基準	( + )	ペプシノゲン 値が 70.0 ng / m 以下かつ ペプシノゲン / 比が 3.0 以下

ABC 検診報告チャートサンプル (B5判 横 両面)

ヘリコバクター・ピロリ菌の感染と疾患

ヘリコバクター・ピロリ菌感染 (幼小児期)

あり → 胃粘膜炎症 → B群 (十二指腸潰瘍, 胃潰瘍, 胃マルトリンバ腫, 未分化型胃癌)

なし → 炎症なし 萎縮なし → A群 (逆流性食道炎, 機能性胃腸症)

胃粘膜萎縮 (腸上皮化生を含む) → C群 (過形成性ポリープ, 胃腺腫, 分化型胃癌)

更に胃粘膜萎縮が進んだ状態 (腸上皮化生を含む) → D(C)群

胃の健康度  
**ABC検診**  
検査結果チャート

**胃の健康度ABC分類 検査結果チャート**

受付No.	カルテNo.
採取日 年 月 日	氏名 廣 様
受付日 年 月 日	年 令 男・女
報告日 年 月 日	性別 男・女
担当 先生	科 外・人 病棟

検査項目	測定結果	判定	ABC分類
ヘリコバクター・ピロリ抗体	U/mL		
ペプシノゲン	ng/mL		
ペプシノゲン	ng/mL		
ペプシノゲン / 比			

陽性判定基準

ヘリコバクター・ピロリ抗体 10.0U/mL 以上

ペプシノゲン 値が70.0ng/mL以下 かつ  
ペプシノゲン / 比が3.0以下

胃の健康度 ABC検診とは...  
胃潰瘍・十二指腸潰瘍の主な原因と考えられているヘリコバクター・ピロリ菌の抗体価検査と胃粘膜萎縮(老化)マーカーのペプシノゲン検査とを組み合わせて、胃の健康度をABCの3群に分類するのがABC分類です。このABC分類を用いて、胃の健康度に応じた検診間隔を設定し、効率的に検診を行う方法がABC検診です。  
ABCの4群に分類するABC検診もあります。

<ABC分類に適さない方>  
・胃の病気の治療中の方 ・胃切除後の方  
・胃酸を抑える薬を服用中の方 ・胃不全の方  
・ヘリコバクター・ピロリ菌除菌治療を受けた方  
これらに該当する方は医療機関にご確認・ご相談ください。

(1 頁)

ABC分類 (ABCD分類)	ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査	
	( - )	( + )
ペプシノゲン検査	( - )	A 群
	( + )	B 群
		D (C) 群
		C 群

< A 群 > 健康的な胃粘膜で胃の病気になる危険性は低いと考えられます。ただし、逆流性食道炎に注意しましょう。

< B 群 > 少し弱った胃です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意しましょう。

< C 群 > 弱った胃で、胃がんなどの病気になりやすい群です。内視鏡による定期的な検査を受け胃の病気の早期発見・早期治療に努めましょう。

< D 群 (C 群) > かなり弱った胃で、胃がんなどの病気になるリスクがあります。内視鏡による定期的な検査をおすすめします。

ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査とは...  
胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃酸の分泌や胃粘膜の免疫応答の働きが不十分な幼小児期(4-6歳)頃までに感染すると考えられています。子供の頃に感染しなかった場合、大人になってから感染することは稀だとされています。

ペプシノゲン検査とは...  
食べ物の消化に際する「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を調べることで胃粘膜の萎縮(老化)の状態を客観的に調べる検査です。

BML 髙ピー・エム・エル

参考文献

- 乾 純和, 他: Helicobacter Research, 11: 554 ~ 561, 2007.  
井上和彦, 他: Helicobacter Research, 11: 562 ~ 567, 2007.